

◆ お知らせ ◆

各 位

株式会社阪急阪神エクスプレス

オーストラリアから大阪府池田市立五月山動物園へ

ウォンバット 2 頭の輸送をサポートしました。

阪急阪神エクスプレス(本社:大阪市北区 代表取締役社長:谷村 和宏)は、10 月 3 日(金)、オーストラリア・メルボルン空港から大阪府池田市立五月山動物園までのウォンバット(雄2頭)の輸送をサポートしました。

当社が輸送のサポートをさせていただいた五月山動物園は日本で 2 番目に小さい動物園で、「ウォンバットの聖地」としても知られており、日本で初めてウォンバットの繁殖に成功した動物園としても有名です。日本で生息する 4 頭のウォンバットのうち 3 頭が五月山動物園にて飼育されており、今回、日本に到着した 2 頭のウォンバットは「ウォンバットと暮らすまちいけだ」の歴史を紡いでいく新たな仲間として同園に加わることとなりました。

ウォンバット 2 頭は 10 月 19 日(日)、「ウォンバットの日」に合わせて池田市・五月山体育館で開催されたイベントにて、五月山動物園とライブ中継を繋ぐ形で一般公開されました。また、同園は 2027 年まで改修工事を行っていますが、11 月にウォンバットエリアで開催される「ウォンバットだけの動物園」(全 5 日程)にて、2 頭は一般公開され、現在、名前の募集なども行われております。

<輸送の経緯>

ウォンバット 2 頭は 10 月 3 日(金)6 時 9 分、関西国際空港に到着しました。輸入許可を得たのち、12 時 25 分に関西国際空港を出発。トラックの手配を行った株式会社阪急阪神ロジパートナーズは、気温に敏感なウォンバットのため、車内の環境を常に 25 度に管理した状態での輸送を実施しました。また、安全を考慮した最短の輸送ルートを設定し、少しでも早く五月山動物園へ送り届けるため、常にドライバーと道路交通事情の共有を行い、輸送におけるウォンバットへの負担軽減に努めながら 13 時 35 分に無事、五月山動物園に到着しました。

<担当者のコメント>

今回の輸送も、営業担当者をはじめとし、通関士、また、関連会社である阪急阪神ロジパートナーズの密接な協力のもと実現されました。

通関担当者は、「税関担当者もスムーズに当日の通関を進められるよう、事前の相談から当日に至るまで非常に協力的に対応してくれました。関係者全員が“とにかくウォンバットの負担を最小限に”と尽力していました。」と語りました。また、トラック輸送に同行した担当者によると、五月山動物園に到着してウォンバットを輸送箱から出した際、環境が変わったことによる戸惑いがあったのか、

少しソワソワとした様子だったものの、暫くして元気に走り回る姿を見て、ほっと胸をなでおろしたそうです。同担当者は「今後の動物輸送においても、動物園と連携を図りながら動物の性格や習性に合わせた輸送環境を整え、動物が安心できる“輸送の旅”を作っていきたいと思います。」と語りました。

阪急阪神エクスプレスは、動物輸送のパイオニアとして、これまでの経験と実績を活かしながら、輸送を通じて絶滅危惧種の保護、生物多様性の保全に協力してまいります。

以上

<関西国際空港出発前の様子>



—————<本件に関するお問い合わせ先>—————

株式会社阪急阪神エクスプレス メディア統括室

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-1450/FAX:03-6745-1458

www.hh-express.com/jp/